



2019年3月13日

報告書

川越市長 川合 善明 様

会社名 株式会社 川金コアテック

代表取締役社長 鈴木 健



毎々格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。(株)川金ホールディングスの子会社である製造元の光陽精機㈱が行いました不適切行為について多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しまして心から深くお詫び申し上げます。

平成30年11月9日に国土交通省住宅局建築指導課より建築設計関係団体宛に、「光陽精機㈱が製造し(株)川金コアテックが出荷した免震・制振ダンパーを用いた建築物の調査における当面の性能検証の方法について」が通知されました。

川越市役所本庁舎は耐震改修工事にダンパーを用いたもので、建築確認若しくは計画通知にかかる審査や耐震改修法に基づく計画認定を得ていない建築物ですが、建築物に対する不安を払拭する観点から顧客との契約上のクライテリアに対する検証を実施しております。

従いまして、国土交通省の通知書による検証方法に従い、川越市役所本庁舎における不適合ダンパーの制振性能への影響を設計者の協力を得て検証いたしました。株式会社千葉構造設計コンサルタント様にて本検証を実施し、指定性能評価機関である一般財団法人ベターリビングに性能検証内容の確認を依頼して、検証結果が妥当であると評された確認結果報告書を受領しましたことをご報告申し上げます。

記

1. 建築物名称：川越市役所本庁舎
2. 設計クライテリア：応答層間変形角：設計目標値 X方向：1/150以下、Y方向：1/150以下
目標Is値=0.75
入力地震動：極めて稀に発生する地震動
3. 本検証結果：
ダンパー基準値モデル最大値：X方向：1/157 (5階)
ダンパー基準値モデル最大値：Y方向：1/157 (2・4階)
ダンパー範囲外モデル最大値：X方向：1/154 (5階)
ダンパー範囲外モデル最大値：Y方向：1/155 (2階)
検証時の入力地震動：「X方向：El Centro波」、「Y方向：El Centro波,告示波2」
換算Is値
(目標Is値=0.75) ダンパー基準値モデル最小値：0.78 (2階)
ダンパー範囲外モデル最小値：0.77 (2階)



4. まとめ

本検証の結果、耐震補強設計時に設定した設計クライテリアを満足しております。なお目標Is値=0.75以上においても、本庁舎の構造体は耐震安全性の分類である「Ⅱ類」を有しており、当初設計の耐震性能の基準を満たしております。